

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 低所得者等援護対策・たすけあい金庫事業
-------------------	----------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	4	自立した暮らしへの支援
小分類	1	自立した暮らしへの支援
主要な施策	1	生活安定対策の推進
事務事業番号	001	事務事業コード 13411001 事業開始年度 昭和 5 3 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	社会福祉協議会貸付金（たすけあい金庫）
------	------	------------	---------------------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 登別市社会福祉協議会
手段 （事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 低所得者世帯の経済的な生活安定と福祉の向上を図るため、たすけあい金庫貸付原資金として貸付する。 主な貸付対象 ・応急生活費の貸付、高額療養費の貸付、教育の臨時経費の貸付、就職の臨時的経費の貸付、技能取得の臨時的経費の貸付、災害の臨時的経費の貸付
目指す姿 （成果）	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 低所得者を対象として、社会福祉協議会が応急援護資金・高額療養費等を貸付し、その世帯の自立更生と生活安定を図り、住民福祉の充実に努める。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		千円	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	5,000				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 貸付回収元金	千円	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	15,000
	一般財源	名称	千円						0
合 計				5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	15,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	50	52			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		50	52			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ たすけあい金庫は、低所得者世帯への応急援護資金を貸付けすることにより、その世帯の生活安定と自立更生を目的として、社会福祉協議会が実施しており、市が原資を貸付けることは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 貸付けに係る相談に加え、利用者の生活に関する助言等も行い、制度の有効活用も図っている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 滞納額が増加傾向にあるため、対象世帯を当面は確実に償還できる世帯に限定しており、制度の安定的な運用に努めている。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 低所得者世帯への貸付金原資であることから削減はできない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	経済不況等による失業者などの増加により、低所得者世帯の生活が不安定な状況となっていることから、応急的な援護資金の貸付制度は必要である。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）